新潟工科大学 地域産学交流センター広報誌

See NExT

Seeds and Needs, then Expanded Techniques

2018.03 No.13

私立大学研究ブランディング事業（文部科学省）に採択

本学はこのほど文部科学省の平成29年度**「私立大学研究ブランディング事業」**の採択を受けました。本事業は、大学研究者が行う研究を大学全体の組織的な取組へと昇華させ、全学的な看板となる研究を推進し、その成果をもって、大学の目指す将来展望に向けて、独自色や魅力を発信し、大学のブランド化を図る取組みであります。本学が持つ研究力の強みと独自性をより一層強化し、"企業がつくったものづくり大学"として研究成果を通じて地域に貢献してまいります。

■ テーマ「高度シミュレーション技術による地域の「風」の課題解決と人材育成」

事業概要（事業期間５年間）

本学が開学以来続けてきた、大型風洞装置（日本最大級）や数値解析技術を用いての地域の「風」の問題に着目した独自性の高い研究を基盤とし、工業製品の流体力学的性能から、耐風、ビル風、風力発電まで、ものづくりの様々な局面においてかかわる地域（地元企業、自治体等）の「風」の課題を解決する実践型研究と人材育成体制を確立します。そして、研究成果の社会への発信を通じ、「企業がつくったものづくり大学」というブランドを定着させます。

■「風・流体工学研究センター」を開設

「風」の研究を重点的に取り組む拠点として「風・流体工学研究センター」を開設しました。センター長の富永禎秀教授が研究リーダーとして本事業を推進します。風をはじめとする空気や液体などの動きに関する課題がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

研究成果を核として、適切な情報発信と関与形成でブランドの確立を目指す。

～学びの意識の高い入学者の増加から継続的な技術者の輩出へ～

新潟工科大学のブランディング目標

企業がつくったものづくり大学のポジション確立

- ●実践的な教育による人材育成
- ●優秀な技術者の輩出による地元産業／地域の発展への貢献

ブランド価値の提供 →

高度シミュレーション技術による「風」の課題解決と人材育成

～「ものづくり」から「まちづくり」まで～

ものづくりの様々な局面にかかわる「風」を対象とした研究で大学ブランドの確立に貢献する。

産業空気力学上　地域の風環境上

課題解決

発信／示唆 →

← 研究テーマの設定

新潟工科大学のオリジナリティ

設立の理念

社会に開かれた個性ある大学として、産学協同を通して県内産業界に貢献する。

建学の精神

ものづくりの視点を重視した工学教育を通じて、未知の分野へ果敢に挑戦する創造性豊かな人材を育成する

研究の独自資産

1. 国内最大級の大型風洞実験設備

2. 上記設備による研究実績の蓄積

存立基盤

500社を超える企業から
78の地方自治体から
3,000件の一般市民から

寄付 ➡ 新潟工科大学産学交流会

← 建学の視点

社会／外部環境

地域に愛される大学
- ・自分達の大学、役に立つ大学

地域への愛着
- ・文化としての「風」の発信

少子化への対応
- ・優秀な人材確保への課題
- ・学生確保への課題

小規模ものづくり企業が密集する地域
- ・全国屈指の工業県
- ・4人以上の事業所数全国10位
- ・大半は中小企業
- ・R&Dが不足傾向

多様な気候風土
- ・冬季季節風の影響大
- ・悪天候時の暴風雪対策
- ・エネルギーとしての風

立地地域（柏崎）の文化・歴史
- ・風のまち、風の陣（地域イベント）、北前船
- ・エネルギーのまち

お問い合わせ　新潟工科大学　風・流体工学研究センター
TEL:0257-22-8110　FAX:0257-22-8123　http://www.niit.ac.jp/branding/　E-mail:wind-center@adm.niit.ac.jp